

平成18年度「水・土壌環境保全功労者表彰」受賞者一覧

(団体 33団体)

推薦者	名称等	主な功績	備考
北海道	いくしゅんべつかわをよくするしみのかい 幾春別川をよくする市民の会	平成3年より、市内の小・中学生等の参加によるサケの稚魚の飼育支援・放流事業を実施し、また、河川敷の清掃や除草、平成6年の「緑の回廊づくり事業」指定を契機とした幾春別川沿線の毎年の植樹活動など、水環境保全の普及啓発及び地域の貴重な水環境の保全に多大な貢献をしている。	
	とねべつかわをきれいにするしみのかい 利根別川をきれいにする市民の会	平成3年5月の建設省の「ラブリバー制度」の認定を受け、市民ぐるみで「第一回利根別川クリーン・グリーン作戦」を実施し、その後の継続した護岸や河道の清掃活動や、花壇の造成、植樹などに多くの市民が参加するようになり、地域の清流化への機運が高まるなど、水環境保全の普及啓発及び地域の貴重な水環境の保全に多大な貢献をしている。	
	ふるさとびほろのしぜんをかたるかい ふるさと美幌の自然を語る会	平成4年より、美幌町で自然観察会を始め、平成6年からはふるさと祭りの益金等を活用して街中のほぼ中心を流れる「魚無川河畔公園」に毎年50～100本の植樹活動を行い、魚無川の浄化に寄与。また、小学校の総合的な学習時間で「魚無川の秘密を探ろう」をテーマに水質調査や植樹活動、絶滅が心配されるドジョウのエゾホトケなどの保護活動を行うなど、水環境保全の普及啓発及び地域の貴重な水環境の保全に多大な貢献をしている。	
岩手県	ぼーいすかうとせんまやだいいちだん ボーイスカウト千厩第一団	平成2年の水生生物調査への参加以来、継続して千厩川の水質調査や清掃に取り組んでいる。また、平成15年からは旧千厩町及び旧川崎村の住民団体に組織する「弓手川結いねっとワーク」において中心的役割を担い、水環境保全の普及啓発及び地域の貴重な水環境保全に多大な貢献をしている。	
福島県	ふくしまけんこおりやましりつみわしょうがっこう 福島県郡山市立三和小学校	平成元年より、市内の笹原川で水生生物による河川の水質調査を行っており、その結果を壁新聞としてまとめ学校内や家庭、地域の人々へ積極的に発表するなど、「水と緑がきらめく未来都市 郡山」の他校の模範的な存在であり、水環境保全の普及啓発及び地域の貴重な水環境の保全に多大な貢献をしている。	
	ふくしまけんりつ なこそこうとうがっこう りけんぶ 福島県立勿来高等学校理研部	平成12年より、蛭田川の定期的な水質調査を実施、その調査結果を高文連主催の生徒理科研究発表会(市及び県大会)で4年連続して発表することなどを通じて、水環境保全の普及啓発及び地域の貴重な水環境の保全に多大な貢献をしている。	
茨城県	じゅうおうまちのほたるをまもるかい 十王町のホタルを守る会	平成8年より、旧十王町区域の河川等に棲息するホタルの保護・繁殖活動を行い、山部川、小石川等のホタル繁殖を成功させたほか、現在は日立市内の親自然型公園各所で地域住民や小学校等の連携のもと、ゲンジボタル、ヘイケボタルの復元に努めているなど、水環境保全の普及啓発及び地域の貴重な水環境の保全に多大な貢献をしている。	
	いばらきけんりつたけそのこうとうがっこうほけんいんかい い かんきょうはん 茨城県立竹園高等学校保健委員会環境班	平成8年より、毎月1回の水生生物及び水質調査を実施し、現在まで長期に渡る調査結果は、花室川の水生生物や水質の経年変化を知る上での重要な資料であり、様々な場所で研究成果を発表している。また、生徒が小中学校の総合学習などで調査方法を指導するなど、水環境保全の普及啓発及び地域の貴重な水環境の保全に多大な貢献をしている。	
群馬県	へびぬまをかんがえるかい 蛇沼を考える会	平成8年より、かつて豊かな水辺であったが都市化の進展に伴い良好な環境が失われつつあった館林市内の蛇沼において、オニバス(群馬県絶滅危惧 類)の保護、周辺の整備、地域子供会との「かい堀体験」などの活動を行っており、水環境保全の普及啓発及び地域の貴重な水環境保全に多大な貢献をしている。	
埼玉県	おおばがわふじょうごみをなくすかい 大場川浮上ごみをなくす会	平成8年より、埼玉県三郷市内を流れる大場川に浮いているごみをボートで回収し、また、両岸のごみの回収も行っている。毎月1回の定期活動が、常に20人前後の会員が参加して継続されてきており、水環境保全の普及啓発及び地域の貴重な水環境保全に多大な貢献をしている。	
千葉県	ろっけんがわをきれいにするかい 六間川をきれいにする会	平成6年に設立、近年では六間川近辺の小・中・高校の「総合学習の時間」に講師として赴き、六間川周辺をフィールドワークとしてザリガニ釣り大会などを行い、不法投棄などが多い六間川の現状を子どもたちに認識してもらうことで六間川の河川環境を守っていく心を養っていけるようにしている。また、六間川遊歩道への植樹、維持管理を市から任されるなど、水環境保全の普及啓発及び地域の貴重な水環境保全に多大な貢献をしている。	
	はるきがわをきれいにするれんらくきょうぎかい 春木川をきれいにする連絡協議会	平成2年より、春木川及びこれに流れ込む排水路に塵芥、汚物、廃液等を捨てない運動の推進、河川の巡視、講演会、研究会等の開催、小中学校での環境学習で生活排水対策の啓発などを行ってきており、水環境保全の普及啓発及び地域の貴重な水環境保全に多大な貢献をしている。	
神奈川県	たかとりがわゆめぶらんなーのかい 鷹取川ゆめブランナーの会	平成12年より、鷹取川及びその周辺の月2回の定期清掃を中心に美化活動、追浜地域全体のイメージUPを図るための花壇整備、様々な形での地元行事や子どもたちを対象にした普及啓発、追浜東町自然の広場にホタルを繁殖させる活動など、水環境保全の普及啓発及び地域の貴重な水環境保全に多大な貢献をしている。	
福井県	ぶしゅうがいけほぞんかい 武周が池保存会	福井県旧南条町の「武周ヶ池」は、雨にも干天にも水位は変わらず、昔は山伏による山岳修行の地で雨乞いの霊験があるとされていたが、近年は湿地化が進み、腐葉、枯れ木などが池の水中に埋没した状態となっていた。本保存会は平成元年より、これをボートなどで回収し清水の清掃美化に努める一方、登山道の草刈りや周辺のブナ林の枯れ木などを利用してのベンチ作り等周辺の整備を続けている。また、平成3年にこの地に古くから伝わる「雨乞い竜神祭」を復活させ、以後毎年8月下旬に開催している。水に関わる伝統文化の保存・継承を含め、水環境保全の普及啓発及び地域の貴重な水環境の保全に多大な貢献をしている。	

推薦者	名称等	主な功績	備考
岐 阜 県	ふるかわちょうせいかつがっこう 古川町生活学校	昭和60年より、家庭から出る廃油を利用した石けんづくりに取り組み、平成12年度からは、地元小学校等への出前授業で”油や牛乳を川に流すと魚が住める水になるには非常に多くの水を必要となる”話をし、廃油石けんづくりを指導するなど、生活排水対策を中心とした環境保全に係る普及啓発を積極的に行っており、会員や子どもたちの意識向上を通じて水環境保全の普及啓発及び地域の貴重な水環境の保全に多大な貢献をしている。	
	はっしゃくがわをまもるにしぼらちょうじゅかい 八尺川を守る西洞長寿会	昭和54年から、ふるさとの川「八尺川」を昭和30年代の河川環境に戻し、子どもたちが遊ぶことができる河川にすることを目指して、草刈・清掃作業、川沿いへの花の植栽・管理、水質浄化のための袋詰めセラミック炭の設置や、子どもたちに川に親しみを持ってもらえるようなアマゴ等の放流・水生生物調査の実施するなど、水環境保全の普及啓発及び地域の貴重な水環境の保全に多大な貢献をしている。	
愛 知 県	あんじょうしふじんかいきょうぎかい 安城市婦人会協議会	平成4年より、会員の家庭等からの廃食用油を使った石けんの製造・配布、アクリルたわしの使用、生ごみ堆肥作り等の実践活動を、平成16年度からは、安城市の生活排水モデル地区での学習会開催時に主婦の立場からの生活排水対策についての講演を行うなど生活排水対策の普及啓発に努めている。また、平成17年度からは、油ヶ淵流域市民モニタリングに参加し、毎月1回2地点において簡易水質測定によるCOD、透視度等の水質調査を継続実施しているなど、水環境保全の普及啓発及び地域の貴重な水環境の保全に多大な貢献をしている。	
	せとしりかきょういくけんきゅうかい 瀬戸市理科教育研究会	昭和47年度より、市内河川の水生生物の定点調査を毎年実施し、調査結果を毎年度ごとに報告書にまとめている。本研究会は、理科教育に携わる瀬戸市内小・中学校教諭の有志で構成され、水生生物及び水質の継続調査としての信頼度が非常に高く、瀬戸市内の全小中学校に配布し、水環境学習の教材として広く活用されているなど、水環境保全の普及啓発及び地域の貴重な水環境の保全に多大な貢献をしている。	
三 重 県	よみがえれおおまたがわれんらくきょうぎかい よみがえれ大又川連絡協議会	平成13年より、熊野市内を流れる大又川をかつての清流によみがえらせるため、地域住民の団体として、地域住民への生活排水対策の啓発活動や勉強会の実施、流域の全小学校(4校)と共同の水生生物調査を継続的に実施、広葉樹による水源の森づくりを行うなど、水環境保全の普及啓発及び地域の貴重な水環境の保全に多大な貢献をしている。	
滋 賀 県	おばきゅうごろう 伯母Q五郎 おばかわけんきゅう 伯母川研究こどもエコクラブ	平成15年に草津市立志津小学校に通う児童と保護者、サポーターにより結成。以後、地元の公民館に「伯母川博物館」を作る、生き物調査プロジェクト、水質改善プロジェクト、水鳥観察プロジェクトなど、子どもたちへの環境教育を中心とした様々な活動を行っている。本クラブの活動が地域住民に対する水環境保全の啓発及び保全活動のきっかけとなっており、水環境保全の普及啓発及び地域の貴重な水環境の保全に多大な貢献をしている。	
	ノースウインドジェネレイトクラブ North Wind Generate Club	平成12年に、身近な存在でありながら生活との関わりが薄くなった琵琶湖について、子どもたちとその保護者ならびに地域住民が活動を通して琵琶湖を含む地域の環境を守り育てていくことを目的として、草津市下物町の住民を中心に結成。以後、漁業体験学習、水環境に配慮した農業体験学習、琵琶湖の水質測定、ヨシ刈りなど、子どもたち及び校区の住民が参加する活動に取り組んでおり、水環境保全の普及啓発及び地域の貴重な水環境の保全に多大な貢献をしている。	
奈 良 県	あきのがわをまもるかい 秋野川を守る会	昭和53年に下市町の中央部を流れる秋野川沿岸の区長で組織。以後、河川清掃、地域住民への広報活動を行っており、近年では、秋野川への鮎の放流、町内の幼稚園・保育園へ出向き、園児に対し直接河川美化を呼びかけるとともに家庭でも秋野川の環境について考えるきっかけをつくることなどに取り組み、水環境保全の普及啓発及び地域の貴重な水環境の保全に多大な貢献をしている。	
鳥 取 県	との しゅうらく 殿 集 落	「布勢の清水」が昭和60年に「因伯の名水」に選定されている。本集落は、「布勢の清水」を中心とする布勢平神社一帯(鳥取県自然環境保全地域指定)の清掃を毎週、輪番制で行い、良好な自然環境・水環境の維持保全に努めてきており、地域の貴重な水環境の保全に多大な貢献をしている。	
	とうごうこめだかのかい 東郷湖メダカの会	平成13年より、東郷湖羽合(とうごうはわい)臨海公園内に設けられた「メダカ池」を拠点として、メダカ池や周辺里山の整備、東郷湖の水質浄化、湖岸の清掃、水辺の生き物調査等を通じた啓発活動などを活発に行っており、水環境保全の普及啓発及び地域の貴重な水環境の保全に多大な貢献をしている。	
岡 山 県	えこねっとわーくつやま エコネットワーク津山	平成15年より、小学生を対象とした「水の学校」を開催し、夏休みに川の水生生物調査などを行う「水の教室」、市内の川の一斉水質調査・結果発表会を行っている。これらの活動は保護者や市民全体の環境意識の向上につながっており、水環境保全の普及啓発及び地域の貴重な水環境の保全に多大な貢献をしている。	
徳 島 県	とくていひえいりかつどうほうじん えがわえこふれんど 特定非営利活動法人 江川エコフレンド	平成12年に、「名水百選」に選定された「江川の湧水」を守り、江川に住民が目目を向け昔ながらの清流を取りもどすことを目的として設立された。以後、毎月1回江川湧水源から約500～600m下流の地域の清掃・除草、下水口に炭のネットを置く下水浄化、小学校の総合的学習などで、江川のような活動について説明、写真コンテスト・活動のパネル展示・広報誌を使った呼びかけ等の普及啓発など、幅広い活動を積極的に展開してきており、水環境保全の普及啓発及び地域の貴重な水環境の保全に多大な貢献をしている。	
香 川 県	さかいでしりつおうごししょうがっこう 坂出市立王越小学校	平成7年度より、「王越タイム」(総合的な学習)の中で、ヤゴを中心とした水辺の生き物の学習、ため池や用水路の水質測定、水質改善を検討するグループ研究、ごみのリサイクルなどを実践している。これらの子どもたちの活動は、地域の自然保護クラブや老人会や婦人会との交流の中で行われており、水環境保全の普及啓発及び地域の貴重な水環境の保全に多大な貢献をしている。	

推薦者	名称等	主な功績	備考
愛媛県	しこくかぶとがにをまもるかい 四国カブトガニを守る会	平成元年より、カブトガニの生息地である河原津海岸の清掃活動や、同海岸の水質・底質・底生生物の調査、里浜づくりの活動モデル事業のほか、西条市との共催でカブトガニ探検隊などのイベントを実施したりするなど、水環境保全の普及啓発及び地域の貴重な水環境の保全に多大な貢献をしている。	
高知県	ものべがわにじゅういっせいきのもりとみずのかい 物部川21世紀の森と水の会	平成13年に物部川流域の豊かな水と森づくりのために、森や海・川に関わる流域住民がともに活動することを目的として結成された。以後、流域小学校での環境学習の実践、一斉清掃、「物部川清流保全計画」の策定を県と協働、また、「子どもたちを川に呼び戻す活動」として実施している、どっぶり川を体験する「川の駅」の開設など、水環境保全の普及啓発及び地域の貴重な水環境の保全に多大な貢献をしている。	
福岡県	あくありんぐいいんかい アクアリング委員会	大川市内には「クリーク」と呼ばれる水路が全域に網の目のように張り回っており、総延長は約300kmにも及ぶ。昔はクリークは「堀」と呼ばれ、農業の用水路・排水路、フナ等の貴重な蛋白源を得る場所、飲料水、船の運送路と実に様々な役割があったが、農業や生活様式の変化やモラルの低下などにより、荒廃が進んでいる。このような状況から、平成14年に身近な自然である「堀」を再生し次世代に豊かな環境を引き渡すことを目的に本委員会が結成された。以後、「堀干し」や岸辺の自然再生を子どもたちや地域住民、ボランティアとの協働で実施、環境学習会を実施するなど、水環境保全の普及啓発及び地域の貴重な水環境の保全に多大な貢献をしている。	
長崎県	ながさきほたるのかい ながさきホタルの会	平成10年より、ホタルが飛ぶ水辺の復活のために、河川的环境調査や幼虫の放流・上陸調査、飛翔状況調査を行い、その結果を市に提供して、市が行うホタル情報発信、ホタルの里づくり事業、ホタルマップ作成に協力している。また、小・中学校でのホタルの生態や河川愛護に関する出前講座、生物保護活動やサイクル活動などを題材とした小学校児童による環境活動発表会「こども自然サミット」開催等の環境教育活動など、水環境保全の普及啓発及び地域の貴重な水環境の保全に多大な貢献をしている。	
大分県	やさかがわにあゆをよみがえすかい 八坂川に鮎を蘇す会	平成2年より、八坂川下流6ヶ所の井堰に魚道を設けることから始めて、目的を共有する他の市民団体と積極的に交流して、小学生や幼稚園児を対象に鮎稚魚の放流行事、河川内の清掃、夏季の川の生き物生態観察会などを行ってきており、水環境保全の普及啓発及び地域の貴重な水環境の保全に多大な貢献をしている。	
千葉市	さかつきがわあいこうかい 坂月川愛好会	平成13年より、坂月川を中心に水質調査、生物調査及び清掃活動を毎月2回実施してきており、また、坂月川ビオトープの管理・運営を行うなど、水環境保全の普及啓発及び地域の貴重な水環境の保全に多大な貢献をしている。	